



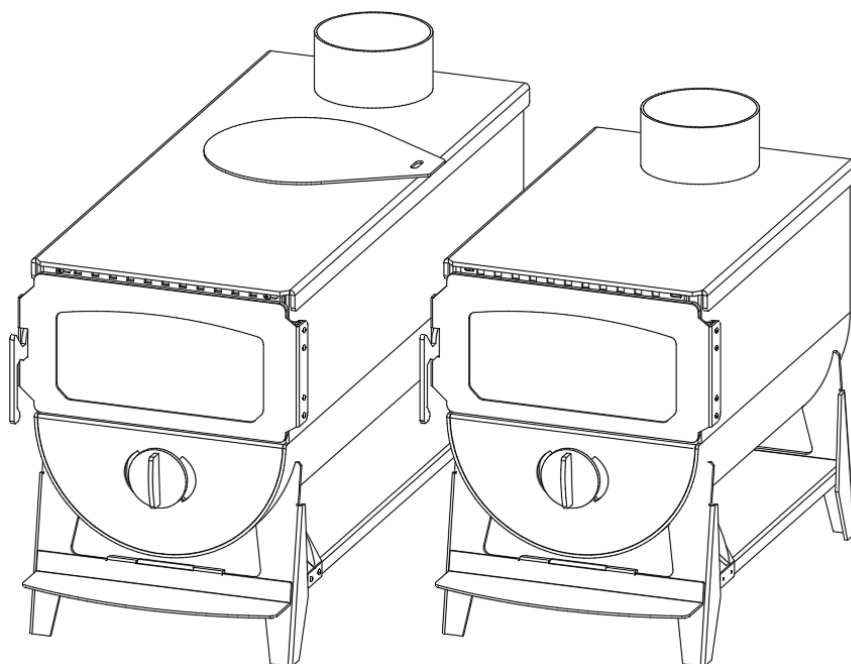
燃烧哲学®

無煙薪ストーブ

MD80IV/MD120IVK

取扱説明書

日本 ドイツ アメリカ 中国 特許
文部科学大臣奨励賞受賞



この度は、MOKI 薪ストーブをご購入いただき、誠にありがとうございます。
本製品を快適かつ安全にご使用いただくために、ご使用前に必ず本取扱説明書をよくお読みください。
また、一度お読みいただいた後も、今後お使いになる方がいつでもご確認いただける場所に保管していただきますようお願い申し上げます。

目次

| | |
|-----------------------|---|
| 1. 安全上のご注意..... | 1 |
| 2. ストーブ各部名称..... | 2 |
| 3. ご使用方法..... | 2 |
| 4. メンテナンス(消耗品交換)..... | 4 |
| 5. Q&A..... | 6 |

環境先端技術

株式会社 **モキ製作所**

※製品の仕様及び取扱説明書の内容は、
改善のため告知なく変更する場合があります。
ご了承下さい。

1. 安全上のご注意

※ご使用前のお願い

初めて火を入れる際は、塗料が焼き付きストーブ表面から煙が出ますが不具合ではございません。煙と共に臭いが発生しますので、屋外で事前に焼き付ける事をお勧めします。

(目安：表面温度 350℃ 焼き付け時間 2～3 時間程度)

屋内設置後に焼き付ける場合は、十分に換気をしてください。

※弊社ストーブは品質向上の為、出荷前に塗装の焼き付けを行っておりますが、完全に焼き付くまでの間、塗装表面から煙が出ますのでご了承ください。

⚠警告 死亡や負傷を負う恐れが有る内容です。

- ・本体及び煙突の設置は建築基準法及び消防法に従い、安全に設置してください。
- ・異常、故障時は直ちに使用を中止してください。

(特に、本体や煙突から炎が出たり、破損が確認された場合)

高気密住宅の場合は外気吸気口が必要です。

- ・緊急に消火した場合、ストーブ内に可燃ガスが充満しますので、焚口扉はしばらく開けないでください。
- ・万が一火災が発生した際は、身の安全を確保し速やかに消防署へ通報してください。
- ・焚口扉を全開、または半開で長時間燃やすとストーブ本体が赤くなり危険です。
- ・灰の処理は火の気がない灰を金属容器に3日以上入れ、完全冷却した後処分してください。思わぬ火災の原因となります。
- ・着火及び燃料としてガソリン・灯油・ガス・アルコール等を絶対に使用しないでください。
- ・本体の近くにガソリン・灯油・アルコール・ライターやスプレー缶などを絶対に置かないでください。
- ・本体を不安定な場所に設置しないでください。
- ・本体及び煙突に過度な力を与えないでください。
- ・火傷の危険があるので、お子様やペットをストーブに近づけないでください。
- ・本体を無断で改造しないでください。

⚠注意 傷害を負う事や、財産の損害が発生する恐れが有る内容です。

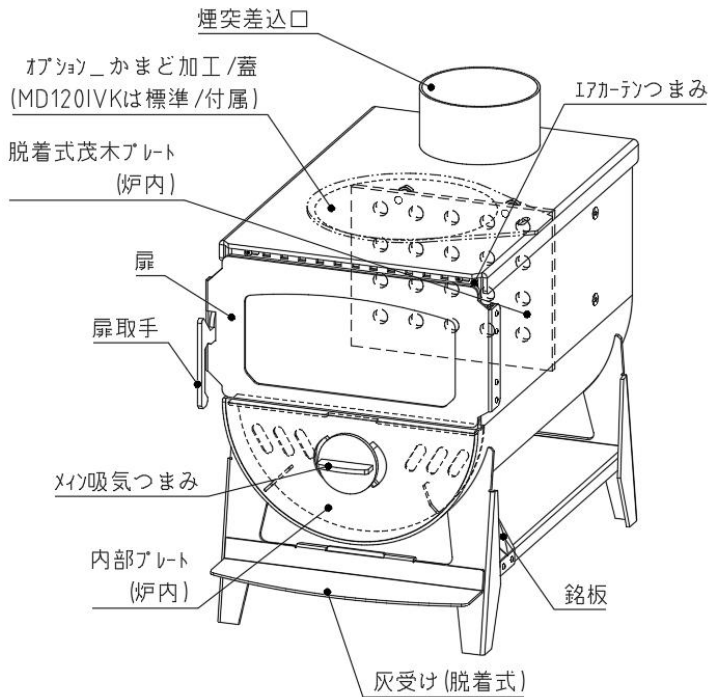
- ・急激な加熱は塗装を傷めることがあるので、最初の火入れは徐々に行ってください。
- ・薪の投入時はレザーグローブ（別売品）を使用し、火傷に注意してください。
- ・乾いてない薪を使用しないでください。煤やタールが煙突に付着します。
- ・ガラスを叩いたり、過度な力を与えないでください。破損の恐れがあります。
- ・燃焼中に液体をかけると破損の恐れがあります。
- ・お子様やお年寄り、体のご不自由な方がお使いになる場合は、火傷などについて周囲の人が十分に注意してください。

※変形と酸化の恐れがあります。

本体・煙突を赤くなるような高温で使用しないようご注意ください。

茂木プレートの下で燃やさないでください。

2. ストープ各部名称

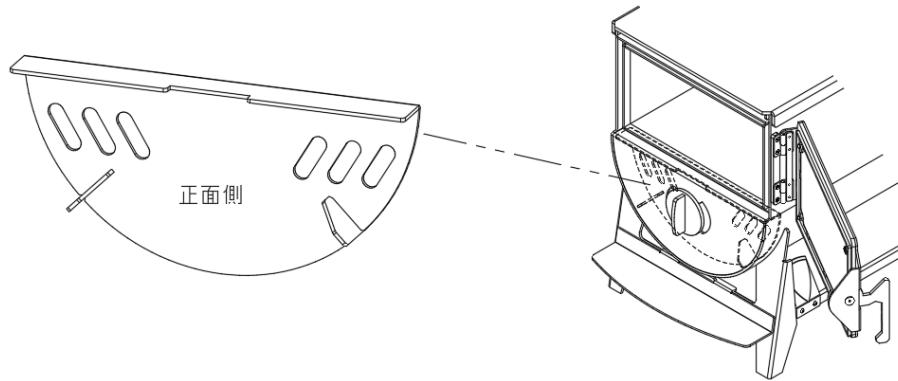


| 製品仕様 | | |
|-------|----------------|----------------|
| 型式 | MD80IV | MD120IVK |
| 寸法 | L648xW401xH529 | L973xW401xH529 |
| 重量 | 約 67kg | 約 88kg |
| 最大薪長さ | 40cm | 70cm |
| 煙突差込口 | 内径 φ 152mm | 内径 φ 152mm |
| 定格出力 | 9,900kcal/h | 15,900kcal/h |
| 最大出力 | 16,830kcal/h | 27,030kcal/h |
| オプション | かまど加工 | - |
| 付属 | 灰取り用お玉 | 灰取り用お玉 |

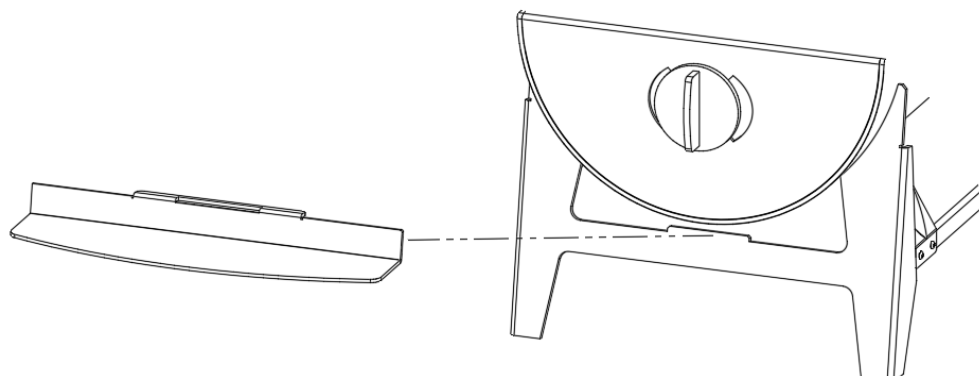
3. ご使用方法

3-1. 準備

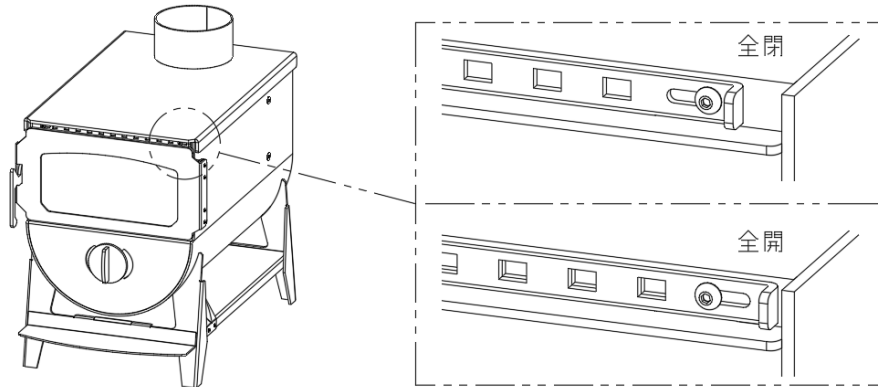
- ① 内部プレートの固定方法
 内部プレートを炉内正面に突き当て、設置します。
 このとき、内部プレートがぐらついて倒れないか確認してください。



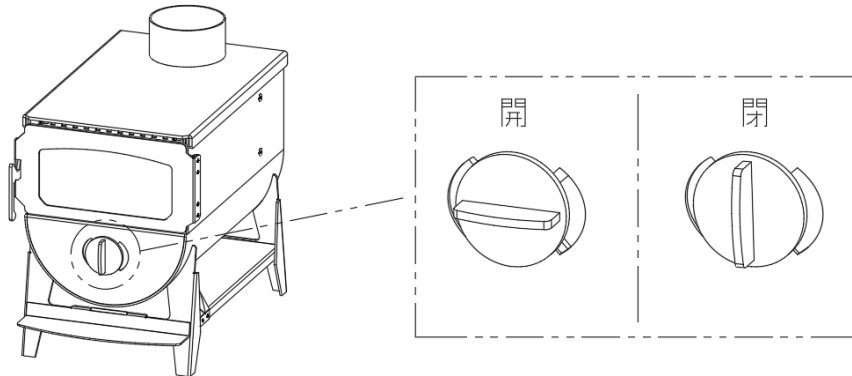
- ② 灰受けの取り付け方法
 灰受けのスリットを薪ストーブ脚の突起に引っ掛けて固定してください。



- ③ エアカーテンを開放
 正面上にあるエアカーテンつまみを右にスライドさせて全開にしてください。
 このとき、吸気口(スリット穴)がすべて空いて見えているか確認してください。
 ※オフシーズンや長期間使用しない場合などは、エアカーテンを閉じてください。
 薪ストーブから外気が屋内に入るのを防ぐことができます。



- ④ メイン吸気を開放
 ・メイン吸気つまみを操作して全開にしてください。
 つまみ横向き：全開 / つまみ縦向き：全閉 (90° 回転)



- ⑤ その他点検箇所
 ・煙突にダンパーが備わっている場合は、開放してください。
 ・屋内が負圧にならない様に、換気扇や24時間換気を切ってください。
 または、薪ストーブ近くの窓を少し開けてください。

3-2.着火

※初回使用時は、炉内に5cmほどの灰を敷いてください。
 保温効果を高めるとともに、熱によるストーブ本体へのダメージも低減できます。

- ① 薪、着火剤用意
 ・焚付けには細めの薪をご準備ください。
 ※薪は十分に乾燥した物をご用意ください。(含水率20%以下を推奨)
 ・段ボールや新聞などの使用は、灰の巻き上げや飛散を伴うため、
 専用の着火剤での焚付けを推奨します。
- ② 着火
 ・扉取手を手前に引き、扉を開きます。
 ・薪をストーブ炉内に配置し、着火剤を薪の上に載せて、ライターやガスバーナーで着火します。
 ※炉内の奥(茂木プレート)の手前で着火すると、立ち上がり早く安定します。
- ③ 着火後
 ・炎が安定するまで扉は半開にしてください。
 ・炎が安定したら、太めの薪を追加し、扉取手を押し込んでしっかりと扉を閉めてください。
 ・ストーブが十分に温まったら、メイン吸気つまみを操作して適切な吸気量に調整してください。

3-3.通常燃焼

- ① 薪投入時の動作と注意
 - ・扉の開閉はゆっくり行ってください。
 - ・薪投入直後は、メイン吸気つまみを操作して全開にしてください。
(煙突にダンパーが備わっている場合は、開放してください。)
- ② 吸気調整
 - ・メイン吸気つまみを操作して吸気量を調整してください。

3-4.消化

薪ストーブは、急な消火は出来ません。
消化の2~3時間前には、薪の投入を止め燃え尽きるようにしてください。

◎緊急に消化が必要な場合

炉内から予め用意した金属製容器内に薪や炭を取り出します。屋外で、水をかけ消化してください。

4. メンテナンス(消耗品交換)

末永くご愛用いただくために必ず下記内容に従い、適切なメンテナンスを行ってください。

- ※作業中は手袋を着用してください。
- ※各種点検等はストーブが冷めている状態で行ってください。
- ※燃焼中には絶対に作業せず、本体が十分に冷めてから作業してください。
- ※点検と掃除は少なくとも年1回は行ってください。
- ※ストーブ表面の錆はワイヤーブラシ等で落とし、紙ヤスリ(#400番程度)で仕上げ、別売りの耐熱塗料スプレーを塗付してください。
- ※定期的に締結ボルトに緩みが無いか確認してください。
- ※ストーブ本体や煙突に穴などの破損が無いか定期的に点検し、破損している場合はご使用をお控えください。
- ※部品脱着に使用する工具等は本体に付属しておりません。適正な工具を使用してください。

4-1.灰の処理

- ① 完全に鎮火し、ストーブが冷めていることを確認した後に作業を行ってください。
- ② 本体に付属している 灰取り用お玉 を使用して灰を取り除いてください。

※ストーブ内には、必ず1~2cm程度の灰を残してください。

※保温効果を高めるとともに、熱によるストーブ本体へのダメージも低減できます。
灰は、金属容器に入れ完全に冷えていることを確認後、処分してください。
(灰は有益な加里肥料になります。ご活用ください。)

4-2.煙突掃除について

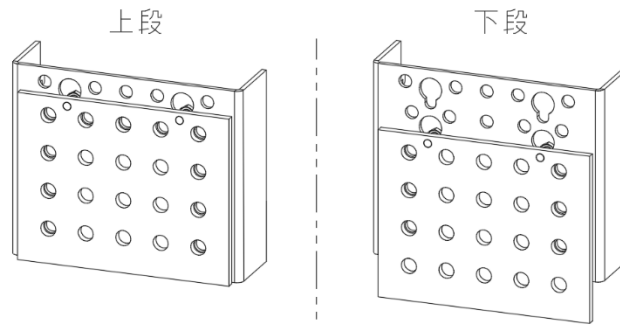
- ・煙突掃除は年1回もしくは煙突内に5mmの煤やタールが付着した場合必ず行ってください。
そのまま放置しますと煙道火災を引き起こす可能性があり、大変危険です。
- ・煤やタールは、掃除ブラシ(別売り)を通して取除いてください。
煙突掃除は施工業者様またはお近くの工務店様等に依頼されることをお勧めします。

4-3.茂木プレート交換

- ① 扉を開いて、炉内にアクセスできる状態にしてください。
- ② 茂木プレートを持ち上げてから手前に引っ張ると外すことができます。
(ボルトの頭で引っかかっている構造になっております。)
- ③ 逆の手順で新しい茂木プレートを取り付けてください。

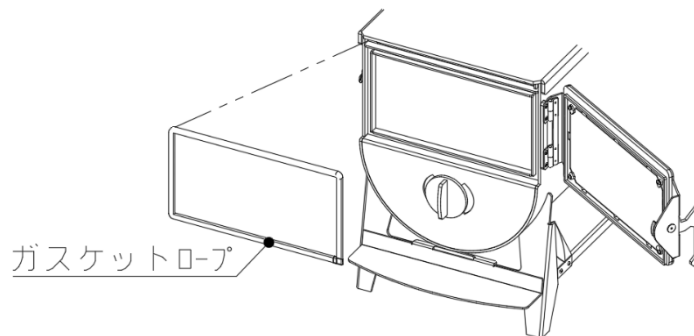
※排気量を調整できるように、高さを2段階に変更できます。

通常は上段を使用し、排気が強すぎる場合は、下段に取り付けご使用ください。



4-4.本体ガスケット交換

- ① 扉を開いて、炉内にアクセスできる状態にしてください。
- ② つなぎ目からマイナスドライバー等を使用して本体から古いガスケットロープを外してください。
- ③ 新品のガスケットロープを取付け、扉がしっかり閉まることを確認してください。

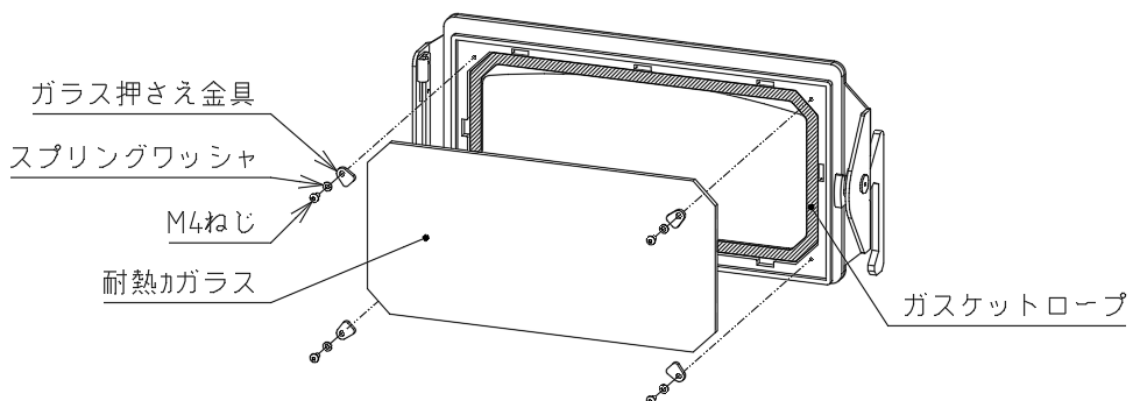


4-5.ガラス/ガラスガスケット交換

- ① 扉を本体から取り外してください。(扉を開いた状態で持ち上げると取り外せません。)
- ② M4 ねじを取り外して焚口扉を分解し、耐熱ガラスを取り外してください。
- ③ 古いガスケットロープをきれいに取り除いてください。
- ④ 新品のガスケットロープを貼付け、下図を参考にガラスを組付けてください。

※組立部品の順番にご注意ください。(特に M4 ねじ、スプリングワッシャ、ガラス押さえ金具)
ガラスや製品破損の恐れがあります。

※M4 ねじの締めすぎにご注意ください。ガラスや製品破損の恐れがあります。



5. Q&A

| こんなとき | 原因 | 対処方法 |
|--------------|---|---|
| 薪が燃えない | 薪の乾燥が不十分 焚き始めから太い薪を使用 空気調整口が閉じている 煙突が煤で詰まっている 横引に対し外の立上が短い 薪の量が少ない | 6～12ヶ月乾かした薪を使用してください 焚き付けは細い薪を使うと着火が容易です 空気調整口を開けてください 煙突の中に煤が5mm以上付着の場合は 煙突掃除をしてください 横引の長さの1.5倍以上必要です 状況により2倍以上必要な場合もあります 薪の量を増やし勢いよく燃やしてください |
| 煙が逆流する | 手前で着火している 煙突が煤で詰まっている 煙突トップ付近の風の乱れ 横引に対し外の立上が短い 高气密の空間である 近くで換気扇が廻っている | 茂木プレート手前近くで着火してください 煙突の中に煤が5mm以上付着の場合は 煙突掃除をしてください 煙突を屋根及び障害物より高くしてください 横引の長さの1.5倍以上必要です 状況により2倍以上必要な場合もあります 窓を開け空気を取込んでください 又は外気導入口を設置してください 換気扇を一時止めてください |
| ストーブが熱くならない | 薪の量が少ない（低温燃焼） 空気調整口が閉じている 空気調整口の開けすぎ 熱が煙突から逃げてしまう | 薪を増やしてください 空気調整口を開けてください 空気調整口を絞ってください |
| ストーブ表面から煙が出る | 塗料が焼ける為です | 初回使用時のみです 換気をしてください |
| ガラスが煤で曇る | 低温燃焼です（不完全燃焼） | 薪の量を増やし勢い良く燃やしてください |
| ガラスの磨き方 | ガラスが冷えている状態の時、湿らしたウエスに灰を付け磨いてください | |

株式会社 毛氈製作所

〒389-0802 長野県千曲市内川 96（国道18号沿）

TEL：026-275-2116（代） FAX：026-275-2169

HP <https://moki-ss.co.jp> E-mail moki@moki-ss.co.jp

最終更新日：2025年1月29日